



こんにちは!!

令和5年7月

145号

やまがたむら 議会 です

村長

特集

村長と議会の討論会

発行：長野県山形村議会（代表）百瀬 章 編集：議会広報編集特別委員会

山形村ホームページ <https://www.vill.yamagata.nagano.jp/>

TEL0263-98-3111



写真提供：市民タイムス

令和5年6月定例会

一般質問はこの8人

特集

日本初かも！
村長と議会の討論会

大月民夫、春日仁、百瀬昇一が代表討論

テーマ「地域コミュニティについての現状と課題」

誕生！

議員You Tuber

◎竹野入恒夫 「長いもジューズ」による乾杯を&交差点の表示変更を

◎小出敏裕 公共建築物の今後の対応は&複合施設のバリアフリー化は

◎大池俊子 学校給食を再び無償化に&山形村の活性化を

◎上條倫司 第6次山形村総合計画

「めぐみの大地に抱かれて チャレンジ！やまがた」

◎福澤倫治 マイナンバーカードの普及率とカード利用時の問題点は

&山形村複合施設整備推進委員会の結果と今後の流れは

◎新居禎三 村の水道ビジョンは&災害に対する備えを

◎百瀬 章 村内及び隣接市村への移動における地域交通の現状と課題は

◎三澤一男 公共交通等の維持・充実は



※QRコードを読み取りYou Tubeで視聴してください。

初開催

村長と議会の討論会



テーマ 「地域コミュニティについての現状と課題」

令和5年 第2回山形村議会定例会

令和5年 第2回山形村議会定例会が6月6日開会し、16日まで11日間開催された。

令和5年度補正予算など16件（陳情・請願1件、報告2件、承認4件、同意2件、議案7件）を審議し、全議案を可決した。
一般質問は8人が登壇し、8日に村政全般について質問を行なった。

主な議案の審議結果

	議案内容	結果
請願 陳情	「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書 「小泉政権下で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた義務教育費国庫負担制度について」教育の機会均等と義務教育制度の堅持及び負担率の復元をもとめるもの	可決
承認 第5号	令和4年度山形村一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて ※歳入歳出総額に5千825万円を追加し、総額を43億624万3千円とするもの 公共施設整備基金積立金 6千500万円など	可決
承認 第6号	令和5年度山形村一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認を求めることについて ※歳入歳出総額に2千648万9千円を追加し、総額を37億8千648万9千円とするもの ※子育て世帯生活支援特別給付金事業費（その他分）680万6千円 新型コロナウイルスワクチン接種事業2千210万7千円	可決
議案 第32号	令和5年度除雪ドーザの買入れについて ※委託業者へ貸し出すための物品購入契約 契約金額1千320万円	可決
議案 第33号	山形村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について ※スマホによる印鑑登録証明書の申請が可能となったため等の措置	賛成 多数
議案 第33号 の反対 討論	大池 俊子 議員 6月2日、マイナンバー法が成立した。マイナ保険証では、別人の医療情報がひもづけられる誤登録が約7,300件発覚した。これは、命に関わる大問題である。生年月日や性別などの4情報で住基ネットに照合しても、約9割は不一致だったという。このように、誤登録を繰り返して制度的に欠陥があるといわれている「マイナンバー制度」は不十分な部分が多く、利便性だけで安全性が証明されないうちに、「移動端末設備利用証明用電子証明書」を追加するなど、次々に推し進められることは賛成できない。	
議案 第35号	令和5年度山形村一般会計補正予算（第2号） ※歳入歳出総額に5千486万9千円を追加し、総額を38億4千135万8千円とするもの 詳細については、別添のとおりです。	可決
議案 第36号	令和5年度山形村介護保険特別会計補正予算（第1号） ※歳入歳出総額に18万6千円を追加し、総額を6億8千983万7千円とするもの	可決
議案 第37号	令和5年度山形村水道事業会計補正予算（第1号） ※原油価格・物価高騰に伴う家計支援事業（水道基本料金3ヶ月減免）による補正 給水収益△1千597万8千円及び他会計補助金（減免分）1千452万6千円 消費税減額分△145万2千円	可決
議案 第38号	令和5年度山形村清水高原簡易水道事業会計補正予算（第1号） ※原油価格・物価高騰に伴う家計支援事業（水道基本料金3ヶ月減免）による補正 給水収益△67万3千円及び他会計補助金（減免分）61万9千円	可決

○その他の全会一致で可決した議案

条例の一部改正（3件）、令和4年度繰越明許費繰越計算書（2件）

山形村固定資産評価審査委員会委員の選任及び山形村農業委員会委員の任命

令和5年度山形村一般会計補正予算（第2号）の主な事業

工事請負費

事業費608万3千円

企画費

教員住宅を改修し、長期滞在用の新たなおためし住宅にする工事

保健福祉センター費 135万9千円

社会福祉協議会デイサービスの食洗機老朽化による購入費用

保育園費 100万1千円

幼児の使用済みオムツを保育園で密閉処理するための、オムツ処理機2台分の費用



オムツ処理機

社会福祉総務費 155万円

村内に事業所のある介護事業所に対し、物価高騰対策支援を行なうもの

価格高騰緊急支援事業 1千800万円

物価上昇による経済的負担軽減のため、所得税の所得割非課税世帯に対し支援金（1世帯3万円）を支給する 600世帯が対象

価格高騰緊急

支援交付金

総事業費1千955万円

新型コロナウイルス

ワクチン接種費

事業費344万8千円

新型コロナウイルスワクチン接種費

来年度からの個別接種化に向け、7月から村内3医療機関でも接種が可能となる。

そのための医療機関への費用。

報償費 160万円 委託料 184万8千円



水道事業費

原油価格・物価高騰による家計支援事業（水道基本料金3ヶ月減免）に伴う水道事業・清水高原簡易水道事業への補助金

水道事業補助金1千494万9千円 清水高原簡易水道事業補助金61万9千円

水道事業補助金

総事業費1千556万8千円

新規就農者支援事業

事業費120万円

山形村新規就農者支援事業補助金

山形村新規就農者支援事業は、当初2名を予定していたが希望者が多くなったため増額するもの

一般質問

議員8人が

村政を問う

一般質問は6月8日、議員8人が登壇、村政について質問を行なった。新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和策を考慮し、

感染リスク低減策を取りながら、質問時間を令和2年3月定例会以来の60分とした。

マイナンバーカードの普及率とカード利用時の問題点は
現在、の申請率は78.04%



福澤倫治 議員

Q 村のマイナンバーカード申請者数は住民の何%か。

A 5月28日現在、マイナンバーカードの

交付率は67.01%である。

Q 寝たきりの高齢者、施設入所者への対応は。

A 戸別訪問や施設訪問についても、実施にあたっての法的な制度や、手法の確認を含めて調整を開始する予定である。

Q マスコミが大きく取り上げている、コンビニでのトラブルは。

A 現時点では、そのような事例は確認されていない。

Q 山形村複合施設整備推進委員会の検討結果と今後の流れは。

A 令和7年度から建設に着手したい。

Q 複合施設の予算規模・建物面積・場所等は。

A 施設整備費は12億円を見込んでおり、建物面積は2000㎡程度、建設場所は既存の屋外テニスコートを中心に整備を進めたい。

Q 今後、建設に至るまでの流れは。

A 令和5年6月から住民が参加したワークショップを4回開催し、出された意見や考え方を基本計画に反映していく。また、本年12月までに基本計画案を策定し、村長に報告予定である。その後、令和6年度プロポーザルコンペを実施して設計業者を決定し、基本計画・実施計画を立てる。



マイナポイント
手続きサポート

公共等の維持・充実は

「安心して暮らせる社会基盤の維持・活性化に取り組む」



三澤一男 議員

Q 第6次総合計画での公共交通維持・充実にあり方検討はどのようになっているか。

A 公共交通の運営は、「松本地域公共交通協議会」で将来にわたり安心して暮らせる社会基盤の整備に向けて、維持・活性化を図るため取り組んでいる。

Q 福祉バス、松本市西部コミュニティバスの利用実績は。

A 福祉バスの令和4年の利用者は1万人強、3月利用者は876人であった。また、西部コミュニティバスは、令和5年見直しがあり「ぐるっと松本バス」と名称を変更し、村井・山形線、朝日・波田線として運行している。新規に運行を開始した広丘駅直行便は、4月・5月とも200人余が利用している。

その他、関連として利便性の向上や利用促進についての実施状況、運転免許証返納、近隣市村との連携、デマンド交通、安全対策を質問した。



広丘駅直行便

第6次総合計画「めぐみの大地に抱かれて チャレンジ！やまがた」
 村長づくりの主役はいつも村民である



上條倫司 議員

Q 第6次総合計画の中で村長の思い入れは。

A 総合計画と村長の公約との関係について

では、総合計画は10年間で想定し、村内の関係機関や団体の代表、学識経験者などで構成される審議会で、協議の上に策定された村政の基本方針である。選挙公約は立候補にあたり、政治理念や重要施策などを有権者に約束したものである。総合計画で示されたそれぞれの課題や目標は、多くの村民の声が集約さ

学校給食を再び無償化に
 今年度は、物価高騰対策として取り組む



大池俊子 議員

Q 学校給食費は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰で、この4月より山形小学校でも値上げされた。憲法第26

条の教育費は無償とする。及び学校給食法の「学校給食を活用した食に関する指導での食育の推進」の観点からも、給食も教育活動の一つとして、無償とするべきである。小学校、

れた世論であるので、両者の調整を図りながら、村政を運営することが必要だと考えている。

第6次総合計画の標語にある「チャレンジ！やまがた」は挑戦する気概を持つことが職員はじめ、全ての村民に求められていると認識している。これからの村づくりの大きな障害の一つは、村政に無関心な村民が、年々増加していることである。

村づくりの主役は村民であるが、主役の顔が見えず、出番が少なくて形式的な村政になっている。住みよい村づくりは、互いに知恵を出し、共に汗を流しながら協働で進めることが、小さな自治体には必要だと考えている。
Q 「チャレンジ！やまがた」は誰に向かって発しているのか。

中学校の無償化の考えは。

A 今年度については、物価高騰対策事業として、小学校は無償化の予定である。

中学校は、1市2村による組合立であるため、一部事務組合で研究していくことが望ましい。

Q 自園、自校給食を推進してきた山形村として、無償化を子育ての目玉としてはどうか。

A 移住・定住促進等への波及効果を考えると、子育ての支援策として、給食の無償化は有効な取り組みである。継続的に取り組むには予算確保が必要であ

A 職員はじめ全ての村民が目標に向かって挑戦することを確認するためのメッセージであり、住民・企業・行政などがそれぞれの立場で、それぞれの目標や使命に向かってチャレンジすることへの熱いエールであると理解している。



役場庁舎

る。少子高齢化の影響により、財政規模の縮小が懸念される中では、一層慎重な対応が必要になる。

その他、山形村の活性化について質問した。



小学校の給食室

村内及び隣接市村への移動における 地域交通の現状と課題は

長 役場発広丘駅直行バスが運行されたが、
村 地域交通に関しては課題が多い



百瀬 章 議員

Q

朝日村営バスは3
路線で、広丘駅まで
運行されているが、鉢盛
中学校発着のA線を役場
まで延伸し利用できない

か。

A

朝日村はもとより、松本地域公共交通
協議会との調整、運行会社との協議、費
用負担、他の運航ルートへの影響など、多く
の課題はあるが、公共交通の研究課題の一つ
だと認識している。山形村発広丘駅直行便は
4月に始まったばかりであり、今後は利用者
の意見を聞く必要性は感じている。

Q

アルピコ交通の上高地線電車を利用す
る高校生に、定期券などへの補助は可能
か。

A

山形線のバス路線については、利用促
進を目的とした助成金交付要綱により、
回数券及び定期券について2分の1の補助を
行なっている。現時点では上高地線の運賃助
成は計画していないが、検討課題である。

Q

福祉バス停留所までの移動困難な高齢
者がいる。きめ細かな移動の補助のため
に、デマンドタクシーを導入してはどうか。

A

歩行に障害がある方や、買い物などで
重い荷物があり移動が困難な方には、有
効なサービスと認識している。山形村公共交
通活性化委員会の意向や様々な要望などを共
有し、今後の公共交通の参考としたい。



「長いもジュース」による乾杯を

村長 議員提案で宣言することが合理的な方法



竹野入 恒夫 議員

Q

「長いもジュース」
による「乾杯」を宴
席に導入して、習慣づけ
てはどうか。20年位前に、
台湾でこれがブームにな
ったので、簡単に作れる。

「長いもジュース」は腸内環境を整え、便
秘解消に効果があるとされている。さらに、
食後の血糖値を抑え、血中コレステロールや
中性脂肪を減らす効果も期待できるため、個

人差はあるがダイエットにも向いているとさ
れる。「長芋」の消費にもつながるので、検
討できないか。

A

村の特産物の長芋をジュースにとの提
案であり、一層の普及促進を図り、協働
の村づくりにも有意義だと思う。先進的な取
り組みとして、県と諏訪市では、議員提案で
議案が提出され、全議員が賛成し「乾杯条
例」が施行された。当村も立法機関である議
会が、議員提案で乾杯条例又は決議などを、
宣言することが合理的な方法である。

その他、交差点の表示変更について質問し
た。



長いもジュース

公共建築物の今後の対策は

日常的、定期的に維持管理を行なう



小出敏裕 議員

Q 主な公共建築物の維持管理費用は。

A 令和元年から令和3年まで3年間の維持管理費用は、トレーニ

ングセンター千910万円、ミラ・フード館千500万円、いちいの里3千970万円で、3施設では年平均費用は7千380万円である。令和4年度は、物価高騰のありを受けて増加が見込まれる。

Q 耐震化が行なわれていない公共建築物はあるか。

A 昭和56年以前の旧耐震基準に該当するトレーニングセンター、小学校においては、耐震診断および耐震補強が済んでいる。

Q 鉄筋コンクリート造り建築物の、使用年数の目標値は。

A 令和元年策定の「山形村公共施設個別施設計画」の中で、築20年程度経過後に機能回復のための予防保全的改修、築40年後の中間期に長寿命化改修、その後約20年スパンで予防保全的な改修を計画し、目標耐用年数を80年としている。

Q 公共建築物の建て替え又は修繕の際の優先順位は。

A 14建築物を計画に載せている。優先順位は付けていないが、危険性が高い公共施設等で、利用状況や効用性の高いものは、安全確保及び長寿命化を実施していきたいと考える。

その他、複合施設のバリアフリー化について質問した。



農業者トレーニングセンター

易水道の統合が必要だと思うが。

A 安定した経営を行なっている上水道に対して、地理的条件など課題が多い、清水高原簡易水道との統合は難しいと考える。

Q 近年、国際的にも規制の動きがあり、国でも3年前に目標値を定めた有機フッ素化合物の検査を村でも行なっているか。国内でもかなりの数の自治体が水源について検査を開始している。

A 水道事業法では、現在義務づけられた項目ではないので、検査は行なっていない。

村の水道ビジョンは「安全安心な水道事業の継続を」

課題はあるが安定した経営を維持



新居 禎三 議員

Q 水道事業は開始よりかなり年月が経過しているが、耐用年数を超えた管路はどのくらいあるか。

A 上水道で総延長の約2%、清水高原簡易水道は約36%ある。

Q 国・県では、「広域化を推進」の方向性が示されているが、村はその前に上水道・清水高原簡



清水高原簡易水道水源池

易水道の統合が必要だと思うが。安定した経営を行なっている上水道に対して、地理的条件など課題が多い、清水高原簡易水道との統合は難しいと考える。近年、国際的にも規制の動きがあり、国でも3年前に目標値を定めた有機フッ素化合物の検査を村でも行なっているか。国内でもかなりの数の自治体が水源について検査を開始している。

村民と議会の交流会開催!!



交流会1日目の様子

村民と議会との交流会を5月20日・21日の両日、「農業者トレーニンングセンターふるさと大ホール」と「保健福祉センターいちいの里」で行ないました。

開催日時は十分に検討したつもりでしたが、若い女性の参加を見込んだ2日目は、託児所を設けましたが低調な結果となり、今後の課題としたいと思います。

とは言え、村民の皆さんからは多くのご意見やご質問をいただきました。中には、厳しいご指摘もありましたが、議員一同に対するエールと考え、今以上に議員活動に邁進するつもりでおります。

交流会は、今回限りではありません。今回の反省を生かし、村民の意見を聴く場をこれからも作ってまいります。

なお、ご参加くださった皆様には、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。
(小出 敏裕)

議会日誌

議会モニターに 委嘱状が交付される

6月30日、議会モニターに応募された方々に、議長から委嘱状が交付されました。



議長が委嘱状を交付

- 9日 《4月》 山形村消防団総合訓練
総務産業常任委員
- 11日 議会広報編集特別委員会
- 14日 議会全員協議会
- 17日 第11回議会改革推進検討特別委員会
総務産業常任委員会
福祉文教常任委員会
- 19日 「やんちゃキッズ」視察
議会広報編集特別委員会
- 2日 《5月》 清水寺八十八夜例祭
- 8日 第12回議会改革推進検討特別委員会
- 17日 戦没者海外物故者慰霊祭
- 20日 村民と議会の交流会
農業者トレーニンングセンター
- 21日 村民と議会の交流会
保健福祉センターいちいの里
- 25日 議会全員協議会
- 30日 第13回議会改革推進検討特別委員会
議会運営委員会
- 6日 《6月》 令和5年第2回山形村議会定例会開会
議会全員協議会
一般質問
- 8日 総務産業常任委員会
- 13日 福祉文教常任委員会
- 14日 村長と議会の討論会
- 16日 令和5年第2回山形村議会定例会閉会
議会全員協議会
- 19日 第14回議会改革推進検討特別委員会
- 28日 議会広報編集特別委員会
議会広報編集特別委員会

6月30日、議会モニターに応募された方々に、議長から委嘱状が交付されました。

交付式には、応募者、議長及び議会モニター担当職員と議会事務局職員が揃い、初めての試みに緊張した面持ちの中、執り行なわれました。

応募された方々は次の4氏です。
(順不同)

曾根原 覚氏(下大池 西沖連絡班)
上條 富美子氏(上竹田四ツ谷下連絡班)
百瀬 文貴氏(下竹田南中連絡班)
滝澤 依里氏(上竹田中村東連絡班)

今後は、議会モニターとして、率直なご意見をお願いします。

議会モニター
募集中!!

皆様のご応募
お待ちしております。

村長と議会の初めての討論会が、6月16日本会議前の議会全員協議会で行なわれた。これは、4月に村長が提案し、議会改革を模索していた議会がこれに応じ、6月定例会での実施が決定した。今回のテーマは「地域コミュニティの現状と課題」。議会側からは、春日仁議員、大月民夫議員、百瀬昇一議員が代表討論者として登壇した。議場には10余名が傍聴に来られ、緊張した雰囲気の中で討論が始まった。初めての試みのためか、議論が噛み合わない討論会であったことは否めないが、これを基に議論が深まれば良いと考える。



討論に応じる本庄村長



村長に提言をする春日議員

春日議員：討論会を終えて

初の試みの討論会に臨みましたが、用意した提言もお題も消化不良となり、自分の力不足を深く反省する結果となりました。村の重要課題である「地域コミュニティ」について、住民の皆様にも少しでも関心を持ってもらうきっかけになればと願います。

大月議員：コミュニティ今後のあり方議論の活発化に期待！

公開討論会は初の試みで、具体的な解決策を明確に導き出すまでには至らなかったが、「連絡班組織」の今後のあり方議論が、活発化する突破口になることを期待します。今、連絡班の仕組みの見直しを図らないと、解散・脱会が連鎖的かつ急速に波及することを危惧しています。今回提言した中で次の2点は、新たな仕組みづくりの「肝」になりそうです。

- ・連絡班の役割を、『防災』、『情報の受発信』、『ごみステーション管理』の3点に絞り再構築を図る。
 - ・各種の地域組織は、組織・団体関係者が主体となり、連絡班に依存しない自治組織への転換を図る。
- 賛否両論、自由闊達な議論の輪が老若男女問わず、村全体に広がることを期待します。



村長と討論する大月議員



村長に意見する百瀬議員

百瀬議員：村長との討論にあたって

いよいよ、当村も地域コミュニティの崩壊が始まり、この問題での討論は、今回は具体的なものとはなりません。

理事者に望むことは、地域コミュニティは村民の安全・安心の根幹です。一定のルールの中での対応を願います。常会は、大切な地縁組織であり、あらゆる活動に必要な絆づくりの組織です。

村民代表 小坂区 寺西 正樹氏 コミュニティに関する討論会を傍聴して

連絡班（常会）未加入世帯が38%となり、3つの連絡班が解散しました。これは、明らかに異常事態です。このままでは、益々退会や解散が増えて村の活動ベースであるコミュニティが崩壊します。

今回、村のコミュニティに関する討論会を傍聴しました。議員からは、冠婚葬祭等の繋がりを基本とする、任意組織の「常会」とは別に、村民共通の「防災・安否確認、村からの広報、ゴミ出し」の3点に限定し、全村民が加入する「行政連絡班」を新たに設定し運営すべきとの提案があり、村長と本音を交えての討論がされました。公式の場では初めてであり、とても意義有りと感じました。これを機に多くの人が参加する討論が広がることを期待します。その中で、ホントに納得できる解決策が見つかると思います。

また、行政には、行政側のニーズで設定した連絡班なので、今後どのようにしていきたいのかをより具体的に提示し、村民からの声を聴いて欲しいと思います。

討論会の動画はこちらからご覧いただけます。⇨



写真提供：市民タイムス

私の一言

連絡班と常会についての私見

つち 土田 淳 一さん (下竹田)



連絡班は行政組織で、常会は地域の任意団体であるならば、例えば概ね50世帯を一連絡班として区割りし、世帯の増減に合わせて10年単位で見直すなどはどうでしょうか？

今の常会内でも別の連絡班になったりする方もあるでしょうが、国の小選挙区もそうですから、そうでもないかと維持は難しいでしょう。更に連絡班の単位を大きくしても、役職の数は現状以下にすべきことも必要と考えます。

任意団体の常会は引き続き維持するのも、解散することも、また脱退することもそれぞれの意思ですから、これまでと同様でよいと思います。

また、連絡班に加入していることのメリットを実感できるよう、入会金の無償化や、毎年指定ゴミ袋を一定数を無償配布するなど、思い切った施策も考えるべきでしょう。

コロナ禍で事業や行事がほぼ無く、連絡班未加入のような疑似体験をしてしまった以上、前のように戻したり、新たな事業展開などは、非常に難しいと思います。



コケイラン

山形村議会議員との交流会に参加して

しお 塩原 明 子さん (中大池)



先日、山形村議会議員との交流会に参加しました。この交流会は「これからの山形村をどのようにしましょうか？」「づく」だして村づくり」というテーマで議員の方々に意見や要望を伝える貴重な場でした。(女性は私を含めて2人だけ。ちよつと寂しい)

山形村に嫁いで24年。大学生2人、高校生1人の子供たちも、地域のいろんな方々に大切に育てて頂き、一段落するのあと少し。そんな時、地区の議員さんからの交流会の知らせがあり、これからの山形村を考えてみよう、何か私にもできることはないかと思いい参加しました。

新型コロナウイルスの影響で行事などがほとんどなくなり、少し元気がない村になっていると思います。私自身も子育て中は、いろんな行事や役員などを通じて知り合った人たちとの交流がありました。が、中学校の役員が終わった頃からは、コロナ禍で交流が減ってしまいました。

そこで、今こそ村長さんや議員さんが中心となって、子どもや若者を地域で支えて育てること、持続可能な地域づくりの再構築をしていくことが大切だと思えます。老若男女ひとりひとりが積極的に参加でき、生きがいや役割を感じられるよう、世代を超えて伝統を引き継いでいく地域づくりを目指していただければと思います。

私も何かできることから始めようと思う良い機会となりました。

編集後記



お帰りのアサギマダラ

6月16日、第2回議会定例会が閉会となりました。今定例会中には、議会初の議会と村長の討論会が行なわれました。また、YouTubeでも配信しているのをご覧ください。

村議会では議会改革の一環として、5月に村民の皆様と議員の交流会を開き、貴重なご意見をお伺いしました。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

さて、ここで議会活動が住民の方からは、「見えない・分からない」との声をよく聞きます。議会活動をどのように伝えればよいかについては、本誌や村ホームページなどがありますが、発信者側(議会や村)は、発信してしまえば伝わったと思いい、受信者側(住民)は、その媒体(紙・電子媒体)を見に行く、聴く意思が無ければ情報伝達の共有はできません。国の進める「DX」や生成AI「チャットGPT」などの科学技術が進歩し、利便性が向上したとしても永遠の課題だと思えます。(三澤 一男)

お詫び

去る5月20日に行ないました「村民と議会の交流会」の開始時間を間違えて掲載してしまいました。紙面をお借りしてお詫びいたします。

発行責任者

議長 百瀬 章
副委員長 小出 敏裕
委員 大池 俊子
委員 竹野 恒夫
委員 百瀬 章
委員 百瀬 昇一
委員 三澤 一男

議会広報編集特別委員会



議長 百瀬 章
副委員長 小出 敏裕
委員 大池 俊子
委員 竹野 恒夫
委員 百瀬 章
委員 百瀬 昇一
委員 三澤 一男